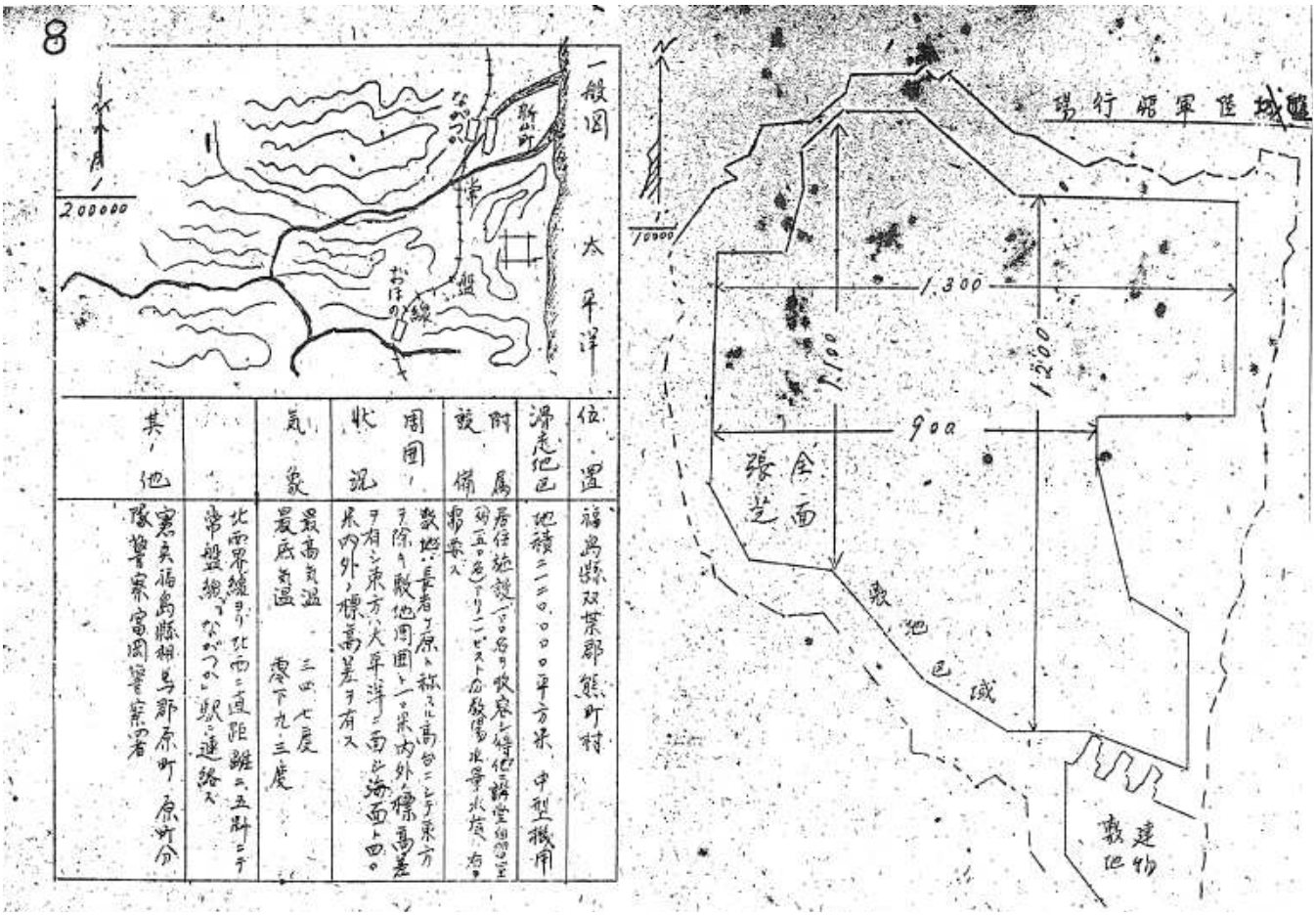
知ってますか？

福島第一原発の場所は、陸軍の磐城（いわき）飛行場だった。

桶川分教場の整備員３名と当時の特攻待機部隊が派遣された



上の図：当時の磐城(いわき)飛行場地図
(防衛省戦史資料室から)

「福島縣双葉郡熊町村」は現在の大熊町で、常磐線の「ながつか」は現在の双葉駅(現・双葉町)「滑走地区 地積 2,120,000 平米」とある。

左：現在の地図

右：福島第一原子力発電所

昭和 20 年 5 月、桶川飛行学校に勤務していた千代田、吉田、増田の整備員は、特攻待機部隊の移動に伴い、磐城飛行場に派遣されて特攻機の整備にあった。

終戦後、ここは塩田となったが、昭和 42 年地元の積極的な誘致により第一原発着工、46 年営業が開始された。

そして、今年、3 月 11 日を迎えた。